

図書館用語一覽

AV資料		AVはAudio Visualの略。視聴覚資料のこと。映画・フィルム・スライド・磁気録音テープ・写真資料・紙芝居などが挙げられる。また、映写・再生する機器をこれに含むこともある。						
一夜貸し		利用者の要求を満足させるため、一部の参考図書類や新着の雑誌などを閉館時から翌日の開館時までの制限つきで時に一晩だけ館外貸出しをするのが一夜貸しである。						
基本カード		図書館の全蔵書のある項目(著者名・書名・件名または分類)の一定順に編成した事務用目録。このカードには、登録番号・受入日付・価格など、蔵書管理上必要な記録が記載されており、各種の目録は全てこのカードを基本にして作成される。 【蔵書】書物を所蔵すること、またその書物						
目録		図書館資料の品目や主要な項目を記録したもの、あるいはそのリスト。目録の形態・形式には、冊子式・カード式、あるいはルーズリーフ式など、目的に応じて様々である。						
目録カード	NCR	カード目録を構成する個々のカード。通常、目録用の国際標準カード。 サイズ 縦:75mm、横:125mmのものを用いる。						
目録規則	NCR	図書館の目録を作成する際の基本原則と具体的な指針。目録記入の形式を整え、一貫した目録の編成ができるように、書誌的事項の記述、標目の選定と統一、排列などの方法を定めた基準。 【排列】目録を編成するに際して、目録記入を一定の順序に並べること。						
目録記入	NCR	書誌的記憶を手書き又は印刷したもので、記述・標目・所在記号からなり、目録の構成単位となる。						
標目	NCR	目録記入の上部に記載され、記入の排列位置を決定するとともに、資料検索上の手がかりとなるもの。標目となるものには、タイトル・著者・件名及び分類記号がある。						
所在記号		図書の所在を示す記号。図書の書架上の位置を示したり、所在館を示したりするのに用いる。別置・開架・閉架の別等を示すために用いられ、時には請求番号と併記される。別置記号ともいう。						
別置		資料を配架する方法の一つ。内容形態上の理由によって、一定の配架法による正規の位置から外して別の場所に配架する方法。別置した資料は、請求記号を加えて示したりしておく。別置記号の決定は、それぞれの館によって一様でない。参考図書を別置するために「R」や「参」を、郷土資料に「K」等を請求記号に加える場合がよくみられる。						
開架		図書館資料が、利用者の手の届く書架上に並べられ、公開されている状態。またはその書架をいう。閉架の対語。利用者が書架に直接接することができることから接架式といわれたり、資料を公開することから公開式ともいわれる。 【書架】「本だな」の意の漢語的表現。						
閉架		図書館資料が、利用者の手の届かない書庫内の書架に保存されている状態、またその書架。開架の対語。						
請求番号		資料が配架されている位置を示す記号。分類記号と図書記号から成り立つのが通常である。図書記号は著者名・受入順・年代順等を記号化したものを中心にそのほか必要に応じて巻冊記号・著作記号・複本記号等を加えて成り立っている。一冊の本には一つの請求記号と本の背に貼付されるラベル上の請求記号との対応によって検索される。						
		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">431.2</td> <td>— 分類記号</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B680</td> <td>— 図書記号</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">H</td> <td>— 複本・全集記号等</td> </tr> </table>	431.2	— 分類記号	B680	— 図書記号	H	— 複本・全集記号等
431.2	— 分類記号							
B680	— 図書記号							
H	— 複本・全集記号等							
配(排)架		図書資料をその請求記号により、書架上の位置を決めて配置すること。通常、分類配架を行っており、これは資料自体を分類記号別にし、一つの書架に一覧できるように配架する方法である。						
分類記号		十進分類法による分類表の中で、各種項目の概念を表すと同時に、その体計表の中での位置を示す記号の事。個々の図書に付加された分類番号は、その図書の書架上の位置や目録上の位置を決定する第一要素となり、図書記号と結びついて請求記号を構成する。						
複本		図書館では、同じ図書を2部以上所蔵する時、これらを複本と呼ぶ。						
件名 タイトル		ある主題または概念をことば(名辞)で表したもの。図書館資料にその内容に見合った件名をつけ、一定の語順により配列した目録のことを件名目録という。 【件名目録】(図書館で)書名に対して、その本の内容から引けるように分類したいいくつかの項目						

書誌(タイトル)		個々の文献を明確に識別できるように、特徴や性質を客観的に把握するために必要な事項を一定の方式に従って記述した文献リスト。 【内容】書名、編著者名、訳者名、版次、出版地、出版社(者)、出版年、ページ数、大きさなどで、内容を分析した分類や併名は含まない。
書名		目録上では、書名を「本書名」「副書名」「別書名」に細分して取扱う。 「本書名」: 図書的主要な書名 「副書名」: 主要な書名の後に続いてこれを限定し、あるいは説明する形のもの。 ただし、時として書名の前に表示される場合もある。 「別書名」: 通常「一名」のように表示され、洋書では'or'あるいはその同義語で接続される書名のことである。 この他に書名の頭部に通常小さい文字で付して、書名を限定修飾する語を「冠称」というが、この冠称は内容によって書名に含まれる場合とそうでない場合がある。
従属タイトル	NCR	本タイトルが、本体と部分の名称とから構成されているもの (例:「定本 柳田国男集 付録」、「雑誌記事索引 人文・社会編」)の部分の名称。
国際標準図書番号 (ISBN)		International Standard Book Numberの略。ISO 2108-1972に基づく図書識別用の固有番号。国際ISBN機関と各国のISBN機関で管理し、そのもとで各出版社が自己の出版物に付与する。国別記号、出版社記号、書名記号、チェック数字の10桁の数字からなる。
チェック数字 (チェックデジット)		あらかじめ定められたコードをもとに何らかの作業を行う場合、そのコードが正しいか否かを判別するための検査数字
国際標準化機構 (ISO)		International Organization for Standardizationの略。物質やサービスの国際的な行き来を容易にするために国際的な標準の開発と促進を行う機関。
逐次刊行物		終期が予定されず、同一の題名のもとに表示された巻号や年月次の順に継続されて刊行される出版物。新聞、雑誌、年鑑、年報をはじめ官公庁が刊行する公報、調査報告、統計書や学会、協会、調査研究機関、大学、企業などが刊行する機関誌(紙)、紀要、調査研究報告、事業報告などは、逐次刊行物に該当するものが多い。 【紀要】大学・研究所などの研究活動を内外に示すために定期的に出す出版物。
継続	NCR	逐次刊行物がタイトルを変更して別の逐次刊行物となること。巻次を継承するか否かは問わない。2以上の逐次刊行物が結びつき、新たな逐次刊行物となる合併の場合や、いくつかの新たな逐次刊行物が生じる分割の場合についても、先行する逐次刊行物と別のタイトルになるならそれを継続として扱う。
年月次	NCR	逐次刊行物の順序づけの表示で、年月日によってその順を示すもの。出版日付とは本来は別物。
所蔵事項	NCR	各図書館が所蔵する資料についての記録。通常、逐次刊行物について、その所蔵の状況を巻次・年月次などで表示する。また、総合目録では所蔵館名の表示が入る。
分離	NCR	1つの逐次刊行物が複数に分かれること。分離には、新しいタイトルの逐次刊行物を派生させる場合と、分離の結果全てが新しいタイトルとなる分割の場合とがある。リンクづけをしたデータベースを構成する場合は、前者のみを分離の範疇に含め、後者は継続の一種とみなすことがある。
保存期間	NCR	各図書館などで資料を保管しておく期間。逐次刊行物などについて、利用率の低下や収蔵スペースなどを考慮し、保存期間を一定の年限に設定することがある。
部編名	NCR	共通のタイトルをもつ資料、逐次刊行物の各系統を区別するためのタイトル。部編名は、従属タイトルとしての部編の名称で、それ自体ではタイトルとはならない。
集中整理		2館以上の図書館の資料の整理作業を、集中的に一つの図書館が担当して行う形態をいう。中央館で分館・分室などの受入図書も一括して整理し、整理済みの図書とその目録カードなどを分館別に引き渡し、分館などでは図書の配架及び目録編成を行うといった方法が最も普通の形である。
蔵書点検		各図書館で定期的に所蔵資料を図書台帳(原簿)、または書架目録(書架に並べられた図書と同じ順序に配列された目録)と対照してその所在を確認する作業で、蔵書管理のための一業務である。特別整理ともいう。開館しながら実施する場合と、一定期間休館して実施する場合があるが後者が多い。「曝書」とも呼ばれているが、これは昔の名残である。
曝書(ばくしょ)		図書の虫干し。湿気を含みやすい和紙、唐紙からなる古書を広げて日光に当て風を通し紙魚などの害を防ぐことを目的とした年中行事。図書館では、洋装の本が増えるに従ってその必要性が薄れ、特別整理などと呼ばれる蔵書点検の代名詞ともなっている。

選書		図書を選択すること。一般に図書選択といわれるものの同義語ではあるが、図書収集・蔵書構成へとつながる用語であるのに対し、選書は収書(集書)・蔵書と共に用いられ、簡潔な用語である。
集書		研究材料として参考文献を集めること、またその集めた書物。
叢書(双書)		同一の主題分野、その他の点で互いに関連のある一連の図書で、同一の形式や体裁に従って編集され継続的に出版されるもの。叢書名をもつ。同一業者の場合もあり、多数の著者の場合もある。一般的には、同一の著者・出版社により同一の装丁(ソウテイ)で出版される。全書・選書・新書・文庫などの名称のものはこの種のものである。 【全書】その方面の関係事項に広くわたって記事を集めた書物。 その書店で出す学術的教養書シリーズ。またその中の一冊。 【選書】ある目的にかなう書物を選んで集めた本のシリーズ。またその中の一冊。 【新書】文庫本より一回り大きく、B6判より少しは小さい判型で、解説的な教養書を中心とした叢書。 【文庫】まとまった蔵書(A6判)
装丁(装訂)		書物を閉じて表紙をつけること、装本。
MARC(マーク)		Machine Readable Catalogingの略。機械可読目録作業。図書館資料の書名・著者名・出版事項・件名などの書誌情報をコンピュータで処理可能な形に形成されたもの。
版	NCR	同一原版を用いて、同一出版社によって刊行された刷の全体。
見計らい		図書館が現物によって図書を選択する場合、あらかじめ一定の注文範囲を示し、これに従って書店が適宜持ち込んだ図書から選択する方法、またはその選択行為。
ラベル		目録カードと書架の図書を明確に結びつけ、探し出しやすくするために、図書に貼付する記号を記入した小紙片をいう。レベルともいう。請求記号を表示し、図書の背の部分に貼るのが通常である。
コレクション・マーク		目録の記述に加えて、記号や文字により、時には請求記号に関連させて、ある資料が例えばあるコレクションの中に、あるいはある部門、ある分館などに所在することを明らかにするために、その事を特に示す記号や文字のことをいう。普通その該当する資料のラベル、その他に同一の記号や文字が記されて返却された時に備えている。所在記号とも言う。
注記		目録で、書名・著者・版・出版・ページ数・大きさなどの書誌的事項の記載が一応終わった後、特に補って説明する事項を記載すること、また記載された書誌的事項の補足の他に内容を説明した内容注記がある。
蔵書目録		図書館の所蔵する資料の目録をいう。図書館の蔵書目録は、書名・著者名・出版者・出版年等の書誌的事項のほか、その図書館の請求記号が記載されている。一般には冊子目録の形態がとられ、一般的には本文は個々の目録が体系的に分類配列され、書名・著者名などからも検索できる索引が付されている。 【冊子】糸でとじた本。
冊子目録		図書の形態をとった目録。カード目録に対する語。冊子体目録ともいう。
分かち書き		文を書く時に、語と語の間に1文字分の空白を置いて書き綴っていくこと、またはその書き方。日本語は、文をつくるにあたって通常すべて続けて書くのが普通なので、語という単語でことばを捕らえるのが比較的難しい。それをいくらかでも容易にするために行われる方法である。
奥付	NCR	図書の末尾にあるその書名・著者・発行者・印刷者・発行所・発行年月日・版次・印次、定価などを記載した部分。
装備		資料を利用に供する直前に、利用しやすくしたり、破損や紛失を防止し、所蔵を表示するために行う一連の作業。付図・正誤表などの貼付、接着透明フィルムによる表紙保護、蔵書印、受入印などの押印、ラベルやブックポケット、返却期限表、バーコード貼付等の作業がある。現在これらの作業を業者に委託したり臨時職員を雇用して処理をしている図書館も少なくない。
典拠ファイル		目録作業の過程で、その図書館が目録の項目として採用した個人名・団体名あるいは無著者古典の統一書名等をカードに記録し、五十音順又はアルファベット順に配列した事務目録の一種。典拠ファイルは、項目の形式の統一を図るためにそのよりどころになるものとして編成される。従って、典拠カードには採用された項目の形式のほかに、必要に応じて、その読み、選んだ根拠を示す資料、採用されなかった同義語、あるいは関連して作成された参照項目などが記録される。
図書原簿		図書館が受け入れた図書の台帳で、受入年月日・登録番号・著者名・出版者名・出版年・受入種別・価格受入先・請求記号等を記載する。

相互貸借		図書館相互間で資料の貸借をすること。図書館が利用者の求める資料を自館に所蔵せず、かつ購入が困難であるか、その館に適さない場合、それを他の図書館から借用してその利用者に提供する方法をいう。
回次	NCR	会議の開催回数、調査の実施回数など一連の順序を表す序次。
加除式	NCR	資料の内容を更新するために、紙葉を追加、又は除去することのできる刊行方式。
合刻	NCR	異なった2以上の資料を一つにまとめて刊行したもの。個々の資料のタイトルはあるが、合刻全体のタイトルはないものが多い。
合集	NCR	1又は2以上の著者(個人または団体)のいくつかの著作を集めたもの。「全集」「選集」「著作集」「論集」「体系」「講座」「叢書」等の名称が多く用いられている。 【全集】その人の著作全部を集めた書物。 【選集】個人または同じジャンルの代表的な文章や傑作集などを選び集めた作品集。 【論集】論文を集めた論文集。 【体系】一定の考え方で矛盾のないように組織された理論や思想の全体。
情報源	NCR	書誌記述に際し、記述対象資料の書誌的事項を記録する場合のよりどころとなるもの。
書誌階層構造	NCR	書誌的記録を構成する書誌的事項は、全体とそれを構成する部分(例:セットもののタイトルと単行資料のタイトル)と、上位と下位の階層関係が成立する場合がある。このような階層関係のことをいう。
書誌単位	NCR	同一の書誌レベルに属する固有のタイトルから始まる一連の書誌的事項の場合、書誌的記録は1以上の書誌単位からなる。単行・逐次刊行・集合・構成の4種がある。
書誌的記録	NCR	特定資料について、組織的に構成された書誌的事項の集合に、標目・所在記号等を加えたもの。目録記入である場合と、MARCレコードである場合とがある。
書誌的来歴	NCR	ある著書が最初に刊行されてから、形を変えて各種の出版物や版として刊行されたり、または複製や翻訳などとして刊行されたりする場合の一連の経緯・変遷をいう。
書誌レベル	NCR	書誌的記録に書誌階層構造がある時の上位・下位の位置づけをいう。
構成書誌単位	NCR	単行書誌単位もしくは逐次刊行書誌単位の下位書誌レベルを記述する書誌単位で、固有のタイトルを有しているが、形態的に独立していない資料の構成部分を記述対象とする。
構成部分		単行資料、逐次刊行物などの一部で、固有のタイトルがあっても形態的に独立していない著作などを指す。
集合書誌単位	NCR	集合書誌レベルの書誌単位で、セットもの、または上位レベルの逐次刊行物の本タイトルから始まる一連の書誌的事項の集合。
収載資料	NCR	記述対象とする構成部分の著作などを収録している資料。
単行書誌単位	NCR	固有のタイトルを有する単行資料の最下位書誌レベルを記述する書誌単位。
単行資料	NCR	固有のタイトルを有する単独に刊行された資料。形態的には2点以上からなることもある。2点以上からなる時は、各部分に固有のタイトルがない場合とか、固有のタイトルのない付随物(例:付録)がある場合などがある。
カード目録	NCR	カード形式の目録記入と参照とで構成されている目録。
刊記	NCR	和古書、漢籍で、出版年月・出版地・出版者・彫刻名などを彫刻した部分をいう。おおむね巻末にある。
巻次	NCR	セットもの、逐次刊行物などを構成する個々の資料に対する番号などによる順序づけ。この番号などの前後にそれを修飾する語が付されている事がある。
キイ・タイトル	NCR	ISDSが逐次刊行物に付与した個別化のためのタイトル。ISSNとキイ・タイトルは同時に付与される。キイ・タイトルの多くは本タイトルと同形であるが、本タイトルが個別化できない場合、本タイトルの後に発行団体名・出版地・版表示などを付してこれを構成する。
ISDS		国際逐次刊行物データシステム
ISSN		ISDSのコード番号
ISBD		国際標準書誌記述。図書館資料を検索する為に定められ、これをもとに目録を作成し、標目選定と形式を学習する。
区切り記号	NCR	ISBDに基づき、書誌記述において書誌的事項それぞれの前に置く一定の記号で、一般の区読法とは別にその用法を定めているもの。
多段階記述様式	NCR	2以上の書誌レベルにわたる書誌的事項をレベルごとに分離し、上位書誌単位のものから順次記述する様式。
簡略多段階記述様式	NCR	多段階記述様式で記載する書誌的事項の一部を除き、簡略化した記述様式。
書名関連情報	NCR	本書名に結びついた形で表示され、本書名に関連してこれを限定説明している語句等。
書名先行事項	NCR	標題紙またはそれに変わるものに表示され、本書名の上部または前にあり、本書名を先導する形の書名関連情報。
増補	NCR	既刊の版の本文に新たな部分を付加して刊行すること。

題字欄	NCR	新聞など表紙及び標題紙のない定期刊行物の場合、タイトルや編者などが表示されている欄。通常、新聞の場合は第1ページの冒頭に、他の定期刊行物の場合は目次の上または前にあることが多い。
単一記入制	NCR	個々の資料について、原則としてただ一つの目録記入を作り、これによって目録を作成する方式。
丁付	NCR	図書の紙葉の1枚ごとにつけられた連続した番号類。
付加的版	NCR	1つの版グループ中の特定版。
付加的版表示	NCR	1つの版グループ中の特定版であることを示す語句などの表示。
付記	NCR	書誌記述において、資料に表示されている事項を付加して記録すること。付記事項は、丸かっこに入れて示す。
複合姓	NCR	2以上の姓(個有名)からなる姓。ハイフンや接続詞などで結ばれていることが多い。
複合媒体資料	NCR	2以上の記録媒体で構成されている資料。例えば映写・スライド・録音テープとで構成されているものなど。
MARCレコード	NCR	書誌的記録を一定のフォーマットによって機械可読媒体上に記録したもの。
MARCフォーマット	NCR	MARCレコードの総体的な枠組みで、その構造・内容をなす各種事項とその識別指示の3要素を規定する。構造の部を外形式、内容の部を内形式ということもある。国際的なUNIMARCフォーマットをはじめとして、各国で書誌情報交換用の標準フォーマットが定められ、使用されている。
補記	NCR	書誌記述において、規定の情報源にない、あるいは資料に表示されていない事項を付加して記録すること。補記事項は角かっこに入れて示す。
分出記録	NCR	資料の構成部分を記述する独立した書誌的記録。構成書誌単位と、この構成部分を収載している収載資料の書誌単位で構成される。
分出記録様式	NCR	資料の構成部分を記述する記載様式。
分割記入様式	NCR	セットものの資料を単行単位ごとに記述する記載様式。
物理単位	NCR	資料の形態的に独立した部分。1点ずつについて記述する単位。
参照	NCR	目録の中で、ある標目から他の標目へ導き案内する役割をもつもの。ある標目を直接他の標目に導く「～を見よ参照」と、他に関連の深い標目が存在することを示す「～をも見よ参照」とがある。
字順排列	NCR	目録記入を排列する時、標目を構成しているそれぞれの語に関係なく全体を一単位として文字の音順に排列する方式。
語順排列	NCR	目録記入を排列する時、標目を構成しているそれぞれの語を単位として排列する方式。まず、標目の冒頭語の文字の音順によって第1次の排列位置を定め、同一語については更に第2語、第3語の文字の音順によって順次その排列位置を定める。
ユニット・カード	NCR	目録を構成する記入を多数複製する場合、その基本単位として用いるカード。
個別型目録	NCR	目録の標目のみの目録記入と参照とで編集した目録で、タイトル目録・著者目録・件名目録・分類目録とがある。
固有名目録	NCR	業者標目の目録記入と、個人・団体の個有名が件名標目となっている目録記入と参照とを混排した目録。
分類目録	NCR	分類標目のみの目録記入と、参照などを排列した目録。
辞書体目録	NCR	タイトル標目・著者標目・件名標目の各目録記入と参照とを混排した目録。
タイトル(書名)目録	NCR	タイトル標目のみの目録記入と参照を排列した目録。
著者・タイトル(書名)目録	NCR	著者標目とタイトル標目の目録記入と参照とを混排した目録。
著者目録	NCR	著者標目のみの目録記入と参照とを排列した目録。
複合型目録	NCR	2種類以上の標目、例えばタイトル標目と著者標目などの目録記入を混排した目録。
総合目録	NCR	いくつかの図書館の蔵書の目録記入(書誌的記録)を記録して、一元的に編成した目録ないしMARCファイル。各記入(レコード)にはそれぞれの所蔵館が明示してある。 【一元】ばらばらにあった組織や機構などがある目的のために統合すること。
排列	NCR	目録を編成するに際して目録記入を一定の順序に並べること。
件名標目	NCR	資料の主題または形式を名辞で表す件名を目録記入の標目としたもので、その図書館が採用する件名標目表(または件名典拠ファイル)に基づき統制された形をとる。
タイトル標目	NCR	タイトルを目録記入の標目としたもので、著者名典拠ファイルに基づく統制された形をとる。
統一標目	NCR	統制された形の標目。例えば、著者や著作が2以上の名称で知られている場合、標目の形としてそのうちの1つの名称に統一することがあり、このことを統一標目という。
標目指示	NCR	記述の下部に、図書館が編成する目録の種別ごとに各種の標目を指示すること。この指示に基づいて、目録記入の上部に標目を記載する。また、資料を除籍する場合には目録中の当該資料に関するすべての目録記入を除去する手がかりともなる。

分類	NCR	資料が扱う主題を、分類にしたがって区分すること。
分類表	NCR	知識の全分野もしくは一部分を、区分特性に基づいて各項目に類別し、これらの項目を記号化して系統的に排列した表。
分類標目	NCR	資料の主題または形式を記号で表す分類記号を目録記入の標目としたもの。その図書館が採用する分類表に定められた記号の形をとる。
マイクロ資料	NCR	マイクロ画像を収めた資料の総称。マイクロフィッシュ・マイクロフィルム・マイクロオペーク アパーチャカードなどがある。
マイクロフィッシュ		シート状のフィルムを使用したマイクロ写真。シートの大きさは色々だが、通常 101.6mm×152.4mm(4インチ×6インチ)が使われることが多い。
マイクロフィルム		本や書類などを縮写して保存する不燃性の35mmのフィルム。
アパーチャカード		カードの一部に窓枠をつくってフィルムを埋め込んだもの。
屋号	NCR	近世において出版を業とした家の称号。
欄	NCR	出版物の組版において、1ページの各行を途中で2段以上に分けて組んである場合の その各々の段のこと。ページ付がなく、欄の番号付のみがなされていることがある。
内容細目	NCR	単行資料の構成部分である各著作などを列記する記録。
翻案	NCR	外国の小説・戯曲などを筋や事件は原作のままにして、人情・風俗・地名・人名などを自 国のものに改作すること。
ログ(障害回復)		システムでハード的あるいはソフト的な事故が発生した場合、できるだけ速やかに障害 を回復する必要がある。そのため、データベースを更新した時点で変更に関する情報を 記録しておくが、この時点を検査点という。
典拠情報		一人の人物や一つの出版社に複数の名前・呼び方がある場合、それを典拠情報として 登録することができる。
類似語情報		一つの事柄に複数の名前・呼び方がある場合、それを類似語情報として登録する。 例えば、電算機・電子計算機・コンピュータは同意語である。
書評		(読者のために)新刊の書物の内容を紹介・批評した文章。
組替え		一度組んだものをやめて内容を取り替えてもう一度新しく組むこと。 <div style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">B書誌なのにA書誌でつくってしまった時に、Bに組替える。</p> </div>

NCR: Nippon Cataloging Rulesの略。日本目録規則